

センターだより「きずな」

# ぎふの 埋蔵文化財

財団法人 岐阜県教育文化財団  
文化財保護センター

No.  
39

2004.3.1

三田洞  
事務所

〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東1-26-1  
TEL. 058-237-8550(代) FAX. 058-237-8551  
e-mail : gifu@maibun.gifu-net.jp

飛 騨  
出張所

〒509-4122 岐阜県吉城郡国府町名張字峠1425-1  
TEL. 0577-72-4784(代) FAX. 0577-72-4690  
e-mail : hida@maibun.gifu-net.jp

## ぎふ発 発掘調査最前線



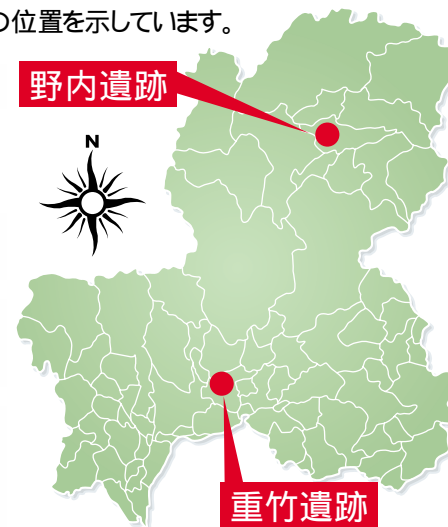
### Contents

表	紙	巻頭グラビア 「県内の遺跡で見つかった遺物」.....1	センターレポート②	2003発掘調査最前線 「発掘現場に行こう!!」Part 2.....6
センターピックアップ		関の刃物 そのルーツを探る!.....2.3	センターレポート③	発掘速報展報告・日誌・あとがき.....7
センターレポート①		整理作業所に行こう!!.....4.5	センターPR	センターの事業いろいろ.....8



# 関の刃物そのルーツを探る!

このページに出てくる遺跡の位置を示しています。



写真A 重竹遺跡で見つかった遺物

県内各地の発掘調査で、鍛冶に関する遺構がいくつか見つっています。今回は、現在整理作業中の重竹遺跡(関市)と野内遺跡(高山市)で見つかった鍛冶に関する遺構とその性格に迫ります。

## 重竹遺跡とは

重竹遺跡は、関市下有知にある非常に広い遺跡です。過去の調査では、縄文時代から江戸時代にかけての遺構・遺物が多数見つかりました。平成13年度の調査では、おもに奈良時代から江戸時代の人々の営みの跡を確認することができました。

## 重竹遺跡と鍛冶遺構

昭和56年・57年の関市教育委員会の調査では、一辺40m弱の四方を盛土で取り囲んだ中に、砥石建物跡や竪穴状の遺構を配置した「鍛冶屋敷」が確認できました。そこでは、鍛冶炉(図A)や多数の鍛冶に関する遺物がみつっています。時期は、室町時代の初め頃から江戸時代の初め頃と考えられています。また、他の場所でも、鍛冶に関する遺物が出土する遺構がみつっています。

## 次々と見つかった鍛冶関連遺構

鉄に関する鍛冶作業では、鉄滓がたくさん出ます。平成13年度のセンターが実施した調査ではこの鉄滓がまとまってみつかるところがあり、特に竪穴状に掘られた遺構(写真B)の中から多く確認しました。この他にも、鞆の羽口(写真A)や全長40cmもある砥石(写真A)など鍛冶に関する遺物が次々とみつかりました。鍛冶炉の跡はみつかりませんが、遺構の壁の一部が高温によって変色した場所を確認しています。時期は、鎌倉時代の初め頃から室町時代にかけてと考えられます。

## ここで作られていたもの

鉄滓を分析したところ、「鍛造鍛冶」の作業を行った時に出土したものであることがわかりました。「鍛造鍛冶」とは、図Aのように熱した鉄の塊を叩いて形を整える作業で、主に刃物を作る時に行われました。また、砂鉄が原材料であることや、材料として鉄屑を使用していた可能性があることもわかってきました。また、遺構内からみつかった砥石は、その広い研ぎ面から刀などの大型の刃物を研いでいた可能性があります。

## これから

残念ながら、今の時点では鍛冶炉の場所がわからないため、「鍛冶に関するかもしれない遺構」としか言えません。しかし、大型の刃物を作っていた可能性を示す遺構・遺物が、鎌倉時代の昔から、関鍛冶で有名な関市内で見つかったことは、大変意義のあることと考えます。今後、関鍛冶の歴史が徐々に明らかになっていくでしょう。



写真B 竪穴状に掘られた遺構の様子

## 鉄器の製作技法

鉄器を作るには、鍛造と鑄造という2つの方法があります。

鍛造には鉄を溶かすために「鍛冶炉」と「鞆」という設備が必要となります。「鍛冶炉」は下の絵のように、地面を掘って作った円い形をした穴(「火床炉」)に炭をおき、そのなかに鉄のかたまりを入れ、「鞆」を使って空気を送って火の勢いを強め、鉄を溶かします。その後、熱した鉄をとりだして作業台(「鉄砧」)の上に置き、錘でたたいて作りたい物にしていきます。仕上げでは、「砥石」という道具で磨いて出来上がりです。

なお「鑄造」という方法は、鉄を溶かして型に流しこんで鉄器を作る方法です。



図A 鍛冶作業の様子(想像図)

## 用語辞典

### 鍛冶

高温で熱せられた鉄などを道具でたたいて鍛え、武器・刃物類・農具などを作り出すことです。

### 鉄滓

製鉄や鍛冶の時に出てくる「不純物のかたまり」のことです。

### 鞆の羽口

「鞆」とは、鉄を溶かすときに温度を上げるために空気を送る装置のことです。「羽口」は、鞆から炉の中へ風を送るために、風の通り道の先に取りつけるものです。おもに粘土を焼いて作られています。高温にさらされているために、すりへったり細かく割れたりして、完全な形でみつけることはほとんどありません。特に炉にさしこまれる部分は、ものすごく高い温度になるために溶けた粘土がついています。

## コラム ～飛騨では～

平成14年度から調査を行っている高山市上切町の野内遺跡では、奈良時代から平安時代にかけての鍛冶炉が見つっています。鉄滓や鞆の羽口など、鍛冶炉に伴う遺物も多数出土しました。



見つかった鍛冶炉



鞆の羽口

この遺跡では緑釉陶器や石帯の巡方(官人のベルトの装飾具)といった、当時の役所に関連の深い貴重品も出土しています。このことから、見つかった鍛冶炉は、役所等に製品を納めた官営工房の跡である可能性があります。



## 2 注記(中野大洞平遺跡)

全体の土器の形などを考えて書く位置を決め、遺跡名、出土地点などのデータを土器に直接書き込みます。土器によっては書きにくいものもありますが、小さくても読みやすい字を書くように心がけています。



## 1 洗い(中野大洞平遺跡)

特殊な遺物が混じっていることもあるので、常に注意深く観察しながら洗います。墨書土器などは洗いのときに見つかることが多く、墨で書かれた文字が見つかったらすぐに調査員に報告します。



## 9 データ入力(柿田遺跡)

遺物と遺構の大きさや数量などをパソコンに入力します。ミスのないように細心の注意を払っているのととも集中力のいる仕事です。データを集計した結果から遺跡の性格がわかるので、やり甲斐があります。



報告書完成!



## 3 接合(大平遺跡)

土器破片の文様、色合い、厚みなどをよく観察して、つながる破片を探していきます。ジグソーパズルのような仕事なので、根気強く取り組まなければなりません。なかなかつながらなかった破片が繋がったときには、思わず「やったあ」と声をあげてしまうことさえあります。



# 整理作業所に行こう!!

三田洞と飛騨の整理作業所では、発掘現場で出土した遺物の整理作業を行い、報告書にまとめる仕事をしています。報告書が完成するまでには、さまざまな整理作業を行っています。今回は、作業員さんたちの姿と声を通して、整理作業について紹介します。

三田洞整理所



飛騨整理所



## 8 図版組み(柿田遺跡)

遺物をトレースしたフィルムを並べて、報告書の原稿(図版)を組みます。様々な形・大きさのものがきちんと収まるように、また図面に塵や埃など汚れがつかないように慎重に作業しています。ここまで携わった方々の努力・苦労に報いるよう、一生懸命頑張っています。



## 4 復元(ウバガ平遺跡)

土器の破片が足りなかったところにセメント状の補修剤を入れて、もとの形に近づけます。破片の数も多く、大きな土器ほど、接合していくうちにゆがみが生じてくるので気をつかいます。一つ作り上げるたびにほっとします。



## 5 拓本(上岩野遺跡)

墨を使って土器の模様を和紙に写し取ります。大きな土器や極端な凹凸があるものは大変です。見た目よりはっきりと模様が出たり、目には見えなかった模様がくっきり浮かび上がってくると楽しくなってきます。



## 6 実測(塚奥山遺跡)

出土した土器を図で表します。文様のある土器については、当時どのような順序で複雑な文様を描いたのか細かく観察し、図面が立体的に見えるように心がけています。集中しているので、時間が経つのも忘れるくらいです。



## 7 トレース(重竹遺跡)

トレースが一番重要で神経を使う仕事だと思います。正確に描かれた実測図もトレースによって変わってしまうことがあるからです。色の濃淡や線の太さの違いによって雰囲気を出さなければいけないので大変です。でも、描き上げて立体感が出たトレースを見た時、頑張った良かったという充実感があります。







# 発掘現場に行こう!!

Part2

早いものであとわずか平成15年度が終わります。前号に引き続き、発掘現場の最新情報をお届けします。名付けて「発掘現場最新レポートPart2」。美濃地方の1遺跡、飛騨地方の3遺跡を紹介します。

## M 浦畑遺跡(御嵩町) 中世 近世

### 室町時代の貯蔵施設と考えられる 甕の埋設穴を発見!

この遺跡は御嵩町の最西端の木曾川河岸段丘上にあります。

今回の調査で、掘立柱建物跡の中から、円形の土坑が並んでいる遺構を発見しました。硬い岩盤を削った土坑の底部は平らで、中からは甕の破片が出土しました。穴の中に甕を置いて、醤油・味噌・酒・油等を貯蔵した施設ではないかと考えられます。これらの埋設穴は、中世の町屋に類例がみられるものです。室町時代の貯蔵施設と考えられる甕の埋設穴が発見されたのは、岐阜県では初めてです。



甕の埋設穴(貯蔵施設)



## T 太江遺跡(古川町) 古代

### 「寿楽寺廃寺跡」関連の遺構・遺物を発見!

この遺跡は、南に開けた扇状地の緩斜面に位置しています。遺跡中央部には、白鳳時代に創建された寿楽寺廃寺跡があります。今回の調査では、寺院跡に隣接するD地区で、礎石建物跡が見つかりました。寺院の造営に関する付属施設の跡である可能性が考えられます。



礎石建物跡と「高家寺」と墨書のある須恵器

また、出土遺物は多種多様で、白鳳時代～平安時代前期のものが中心です。「寺」の刻書がある須恵器や「高家寺」と寺名を墨で記した須恵器も出土しました。

## R のうち 野内遺跡(高山市) 古代 古墳 中世

### 古墳時代中期の集落跡を発見!

この遺跡は、川上川の左岸にある河岸段丘上にあります。古墳時代中期主体の竪穴住居跡を53軒確認しました。竪穴住居跡の中には、小さな川原石を「コの字」形に配置させた炉跡が、壁寄りに残るものもありました。住居内からは土師器の高坏や甕などが出土し、5世紀後半頃の須恵器も出土しています。この集落は、約300m南西にある赤保木古墳群と密接な関係があると考えられます。



石を「コの字」形に配置した炉跡

## U なかの おおぼらだいら 中野大洞平遺跡(古川町) 縄文 弥生 古墳 古代

### 縄文時代から平安時代にかけての生活の跡を発見!

中野大洞平遺跡から北側を望むと、古川盆地、その向こうには太江遺跡も見渡せ、雄大な景色に心も晴れてきます。東側には縄文の大集落、中野山越遺跡もあります。中野大洞平遺跡では、縄文時代から平安時代の人々の生活の跡が確認できました。縄文時代の竪穴住居跡からは土偶や小型の磨製石斧、弥生時代の竪穴住居跡からは地床炉や床面に埋められた甕が見つかりました。さら



竪穴住居跡と出土した土偶の胴体部

には、遺跡北側の大洞平2号古墳へと続く可能性のある階段状遺構も見つかりました。

平成15年11月26日(水)～12月23日(火)

# 発掘速報展 開催される!!



見学者の様子

毎年恒例となりました「発掘速報展～いにしへの美濃と飛騨～」が、岐阜県博物館において開催されました。今年度は平成13・14年度に発掘調査を行った遺跡を中心に飛騨から1遺跡、美濃から8遺跡を紹介しました。なかでも清見村の上岩野遺跡と藤橋村の塚奥山遺跡から出土した縄文土器30点余りと、可児市の柿田遺跡から出土した弥生時代～室町時代にかけて人々の生活に使われた箸や椅子、下駄などの木製品には注目が集まりました。会期中、多くの方々が当時

の生活と今の生活を対比させながら、熱心に展示ケースを覗き込んでいました。

なお柿田遺跡から出土しました網代は、岐阜県博物館の3階、人文展示室1の入り口に顔戸南遺跡(御嵩町)の網代と並べて常設展示しておりますので、お越しの際にご覧下さい。

12月7日(日)に、金沢美術工芸大学の小島俊彰先生による記念講演会を開催しました。「縄文時代の美濃と飛騨～北陸からの遠望～」と題して、北陸地方の遺跡から出土した遺物の中に、飛騨の上岩野遺跡と美濃の塚奥山遺跡から出土した遺物に類似した遺物があることをパソコンを使って分かりやすく説明されました。縄文時代に北陸と美濃・飛騨に人や物の交流が広範囲にあったことをユーモアを交えて話していただきました。



講演会の様子

## センター日誌だより……\*

- 10月
- 2 藤橋村立藤橋小中学校 榎原村平遺跡(藤橋村)見学
  - 7 瀬戸市埋蔵文化財センター 藤澤良祐氏 土岐口西山古窯跡(土岐市)出土遺物指導
  - 8 岐阜県立岐阜総合学園高校生1名 三田洞事務所にてインターシップ(～10日)
  - 9 埼玉県立歴史資料館 中島宏氏 飛騨出張所資料見学
  - 10 名古屋見晴考古資料館 伊藤正人氏他2名 藤橋村榎原地区3遺跡見学
  - 11 可茂地区文化財担当者 東野遺跡(坂祝町)見学(15名)
  - 15 野内遺跡(高山市)現地説明会(155名)
  - 16 岐阜市立北中学校生徒2名 東野遺跡、三田洞事務所にて職場体験(～16日)
  - 17 高山市立三枝小学校児童及び三枝地区長寿会 野内遺跡見学「走る県政バス」三田洞事務所見学(36名)
  - 22 三重大学名誉教授 八賀晋氏 太江遺跡(古川町)調査指導(～23日)
  - 23 南山大学教授 伊藤秋男氏 中野大洞平遺跡(古川町)調査指導(～24日)
  - 24 串原村立串原中学校1年生 大平遺跡(串原村)にて発掘体験
  - 24 古川町文化財保護審議会 中野大洞平遺跡・太江遺跡見学
  - 25 中野大洞平遺跡現地説明会(124名)
  - 26 浦畑遺跡(御嵩町)現地説明会(99名)
  - 27 奈良大学教授 泉拓良氏 藤橋村榎原地区3遺跡調査指導
  - 30 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 白川・山本氏 三田洞事務所資料見学、榎原村平遺跡見学(～31日)

- 11月
- 2 串原村文化展にて大平遺跡出土品展示(～3日)
  - 8 太江遺跡現地説明会(137名)
  - 13 富加町教育委員会 島田・恩田氏 三田洞事務所にて資料調査
  - 20 奈良文化財研究所 岡村道雄氏 榎原地区3遺跡関連指導(～21日)
  - 22 近畿大学助教授 南武志氏 塚奥山遺跡(藤橋村)出土遺物指導
  - 26 可児郷土歴史館特別展記念講演会に講師派遣
- 12月
- 2 瀬戸市埋蔵文化財センター 藤澤良祐氏 重竹遺跡(関市)出土遺物指導
  - 7 発掘速報展記念講演会(金沢美術工芸大学教授 小島俊彰氏・岐阜県博物館 120名)

- 8 奈良大学教授 泉拓良氏 塚奥山遺跡出土遺物指導
  - 9 各務原市教育委員会 渡博人氏 柿田遺跡(可児市・御嵩町)出土遺物指導
  - 12 京都橋女子大学教授 五十川伸矢氏 柿田遺跡出土遺物指導
  - 23 発掘速報展閉幕(岐阜県博物館 2,819名)
  - 24 丹生川村文化協会 藤本健三氏 飛騨出張所来所 奈良文化財研究所 島田敏男氏 榎原村平遺跡調査指導
- 1月
- 8 福井県金津町教育委員会 木下哲夫氏 飛騨出張所資料見学
  - 9 岐阜県博物館 長屋幸二氏 いしま遺跡(藤橋村)出土遺物指導
  - 19 奈良大学教授 泉拓良氏 榎原村平遺跡調査指導
  - 21 三田洞事務所消防避難訓練
  - 奈良大学教授 泉拓良氏 東野遺跡調査指導
- 2月
- 20 県健康長寿財団シルバー大学(岐阜市)に講師派遣
  - 25 可児生き生き創年ゼミ(可児市)に講師派遣

## あ と が き ……\*

集落跡などの発掘調査では、これまで人々が生活してきた時代がいくつもの土の層として確認できます。その間には幾度かの大きな災害で土が堆積した層もあります。土の層が下になるほど古い時代になります。人々はいつの時代も自然にはたらくかけをして、つまり地面を掘り返して生活してきました。そのため古い時代の生活面にまで掘り込んだ穴なども見つかります。そのうち最も大がかりな「掘り返し」は現代のもので、現在の地表面もこれから幾度も掘り返されたり、整地されたり、災害で埋もれたりを繰り返すので、遠い未来の人々はわたしたちが生きた時代を遺跡としてどのように発掘調査するのでしょうか。





平成15年度 当センター調査員

# 当センターでは...

## 発掘調査に関すること

私たちの生活を守ったり、住みよい環境にするために作られる施設や道路やダムなどによって遺跡を壊さなくてはならなくなった場合、発掘調査を行います。そして、土の中に埋もれている物を取り上げたり、当時のくらしの跡を記録に残したりして、別の形で保存する方法をとります。

発掘作業では、石器や土器などの遺物を取り上げたり、出てくる跡や物の様子を写真や図面で正確に記録したりします。整理作業では、出てきた遺物を整理し、遺跡についてのさまざまな図面や、データからわかってきた遺跡の姿を報告書としてまとめ上げます。まさに土に埋もれた文化財を深い眠りからそっと起こして今の時代によみがえらせる作業といえます。

発掘調査はセンターの中心的な仕事の一つです。



住居跡掘削の様子(いじま遺跡)

## 教育普及に関すること



職場体験の様子(三田洞事務所)

センターでは、発掘調査の成果を皆さんによりよく知っていただくために「現地説明会」「発掘速報展」「報告会」を行っています。また「タイムスリップ探検隊」「講演会」など、親しみを持って考古学を学習する場も設けています。「遺跡見学」「発掘体験」「整理所見学」「整理作業体験」などを行い、小中学生を受け入れる事業も行っています。

その他、ホームページや広報誌「きずな」(年3回発行)などとおして、このような催しやセンターの様子を皆さんのお手元に届けています。

## 遺物・図書に関すること



当センター書庫

これまでに調査した遺跡から出てきた土器や石器などの遺物を保管するとともに、全国各地の博物館などに遺物の貸し出しも行っています。また、県内および全国各地の遺跡の報告書や考古学に関する書物が多くあり、報告書作成や研究などに役立っています。

センターでは、  
 いろいろな事業を  
 行っています。  
 ぜひ、ご活用  
 ください。



●問い合わせ・申し込み●  
 当センター調査部までご連絡ください。  
 TEL:058-237-8553